

日本政府に習近平主席の国賓来日の撤回を求める意見書提出についての陳情

1 陳情の要旨

日本政府が習近平中国国家主席を国賓待遇で日本に招こうとしていることに強く反対し、国賓待遇及び来日自体の撤回を政府に求めます。

よって、国に意見書を提出することを求めます。

2 陳情の理由

現体制の中国は、香港やウイグル、チベット等への人権弾圧や、尖閣周辺の日本領海侵入など、世界の平和を脅かす行為を繰り返しております。その最高指導者である習近平国家主席を、天皇陛下との会見や宮中晩餐会などでもてなす国賓とすることは、日本も人権弾圧などを容認しているという間違ったメッセージを世界に与えることとなります。これは、日本の歴史上の汚点となりかねません。

また、2月時点で猛威を振るっている中国発・新型コロナウイルスは、2002年に沈静まで約8か月を要したSARS(サーズ)の感染力を超えており、この4月から5月にかけてがピークと言われております。そのような時期に中国から主席をはじめ数百人が来日することは、国内感染者を増やす要因になりかねず、さらには世界に向けた安全宣言として日本が政治利用されてしまうこととなります。

国内外より多くの観光客の注目を集める由緒ある鎌倉市から、自国民の安全と世界の平和を守る声をあげるべきと考えます。したがって、習近平中国国家主席の国賓待遇及び来日自体の取り止めを政府に求めます。

令和 2年 2月 10日

提出者

幸福実現党 神奈川県本部 鎌倉支部

代表 岡島由佳

鎌倉市議会議長 久坂くにえ様